

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年11月22日

計画の名称	浸水対策の推進と良好な洲本市の水環境形成（2）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	洲本市												
計画の目標	循環型社会の形成を目指し良好な水環境の創造を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,630	A	1,620	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.61	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	汚水事業において、汚水処理面積を358ha（R2）から400ha（R6）に増加させる。 処理区域面積 下水道整備（汚水）が完了した処理区域面積の増加分	358ha	385ha	400ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(汚水)	新設	洲本処理区污水管渠面整備工事(未普及)	150 L=7,000m	洲本市						700	-	
	A07-002	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(汚水)	新設	洲本污水幹線	200~300 L=1,300m	洲本市						400	-	
	A07-003	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(汚水)	新設	加茂污水幹線	450 L=400m	洲本市						200	-	
	A07-004	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(汚水)	新設	都志処理区污水管渠面整備工事(未普及)	150 L=1,500m	洲本市						200	-	
	A07-005	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	新設	洲本環境センター施設増設工事	汚泥脱水処理施設	洲本市						120	-	
												小計						1,620	
												合計						1,620	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠（ 汚水）	新設	接続助成	接続助成	洲本市						10	-	
		基幹事業(A07-001)により整備された区域において各戸の接続工事に対する助成制度を設けることで、早期接続を促進し事業効果の向上を図る。																	
											小計						10		
											合計						10		

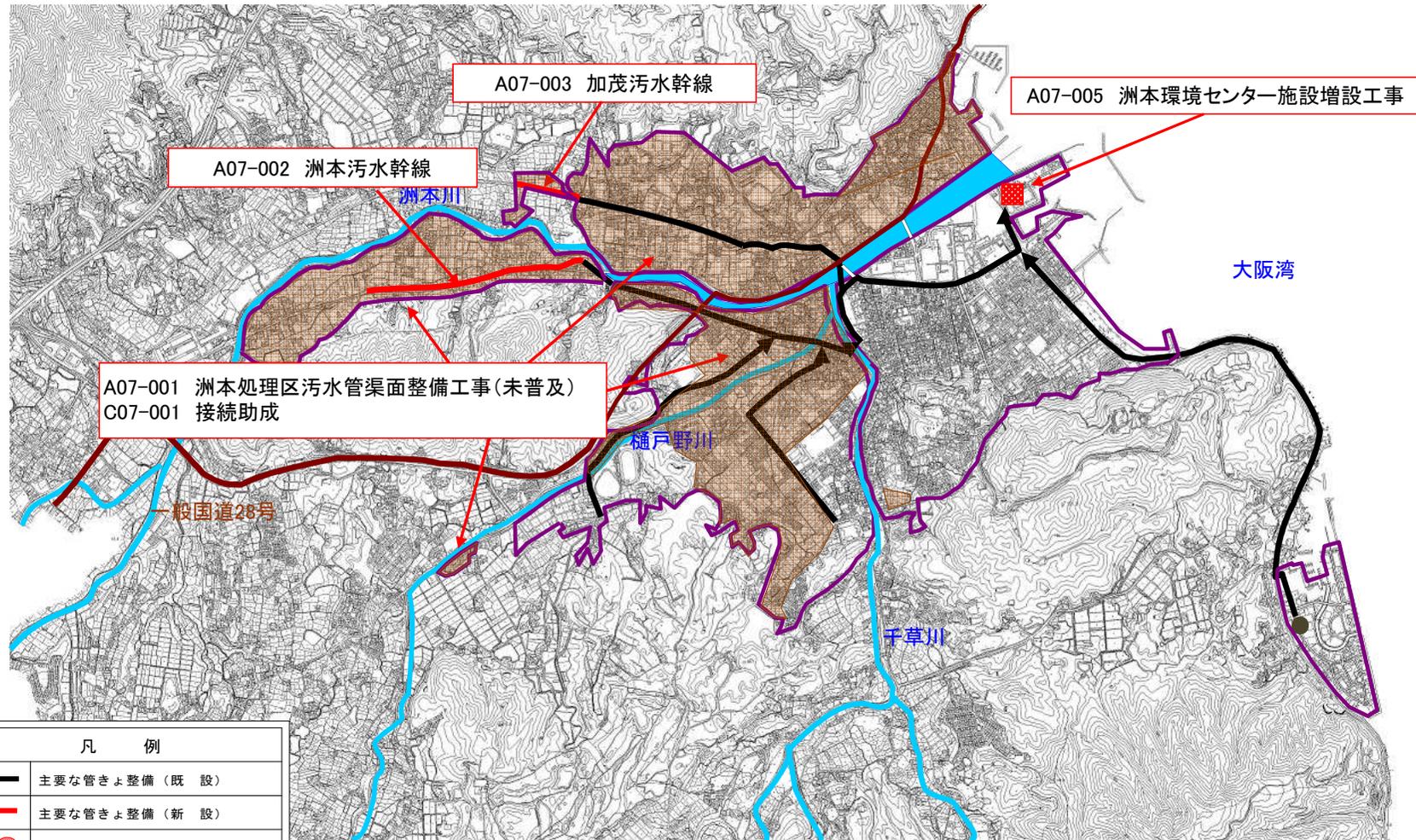
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	210	117	126	59	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	210	117	126	59	
前年度からの繰越額 (d)	25	115	47	117	
支払済額 (e)	120	185	56	0	
翌年度繰越額 (f)	115	47	117	0	
うち未契約繰越額(g)	0	16	2	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	176	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	6.89	1.15	100	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

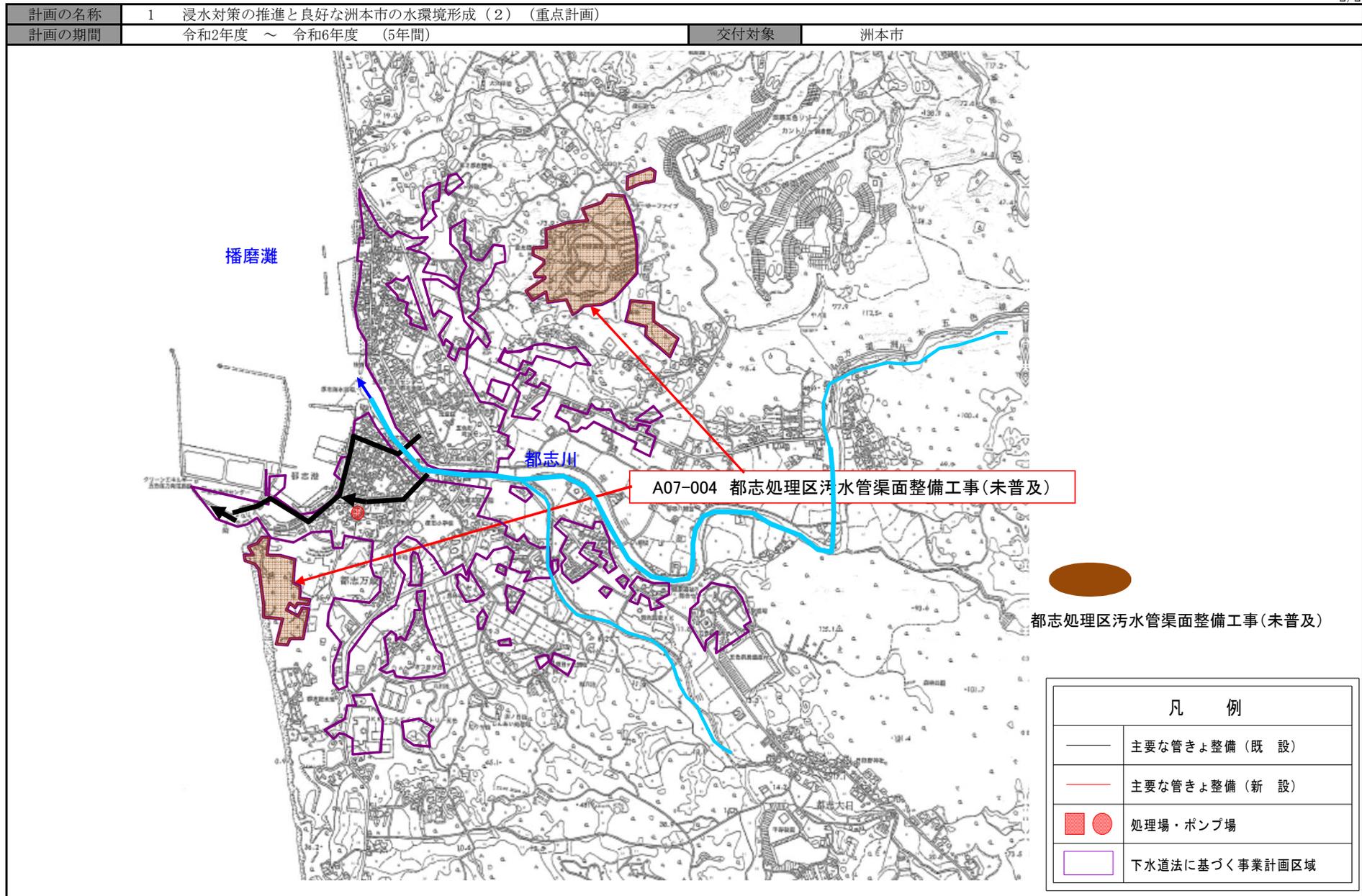
計画の名称	1 浸水対策の推進と良好な洲本市の水環境形成 (2) (重点計画)	交付対象	洲本市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		



凡 例	
	主要な管きよ整備 (既 設)
	主要な管きよ整備 (新 設)
	処理場・ポンプ場
	下水道法に基づく事業計画区域

洲本処理区污水管渠面整備工事(未普及)

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 浸水対策の推進と良好な洲本市の水環境形成（２）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年11月22日

計画の名称	浸水対策の推進と良好な洲本市の水環境形成（2）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	洲本市													
計画の目標	循環型社会の形成を目指し良好な水環境の創造を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	効率的な下水道計画を策定する。 効率的な下水道整備計画の策定 効率的な下水道整備計画を策定する。	0件	0件	1件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(汚水)	新設	効率的な下水道整備計画策定	計画策定 1式	洲本市						10	-	
											小計						10		
											合計						10		

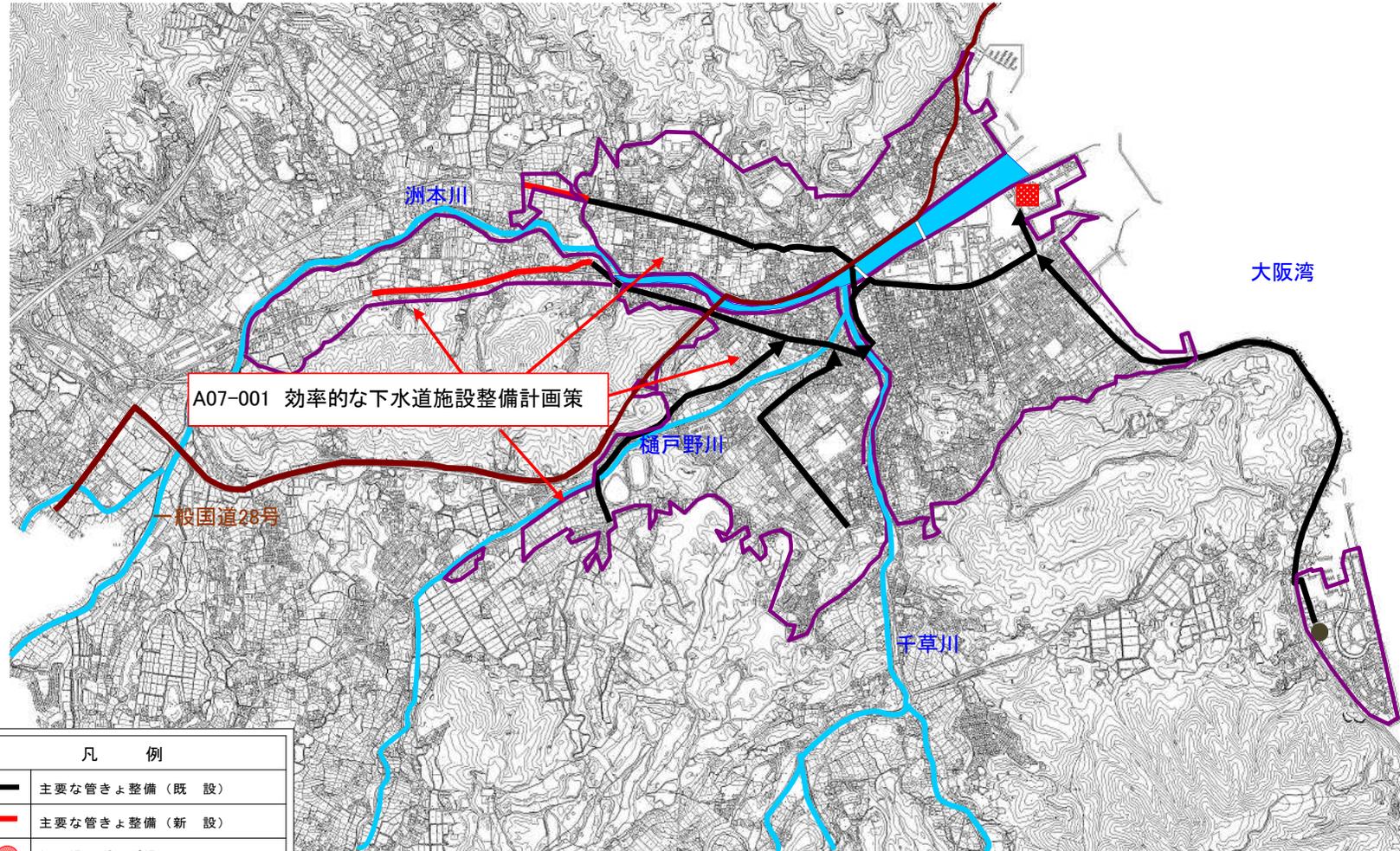
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	0	0	1	2	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	0	0	1	2	
前年度からの繰越額 (d)	3	0	0	0	
支払済額 (e)	3	0	1	0	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	2	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	100	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

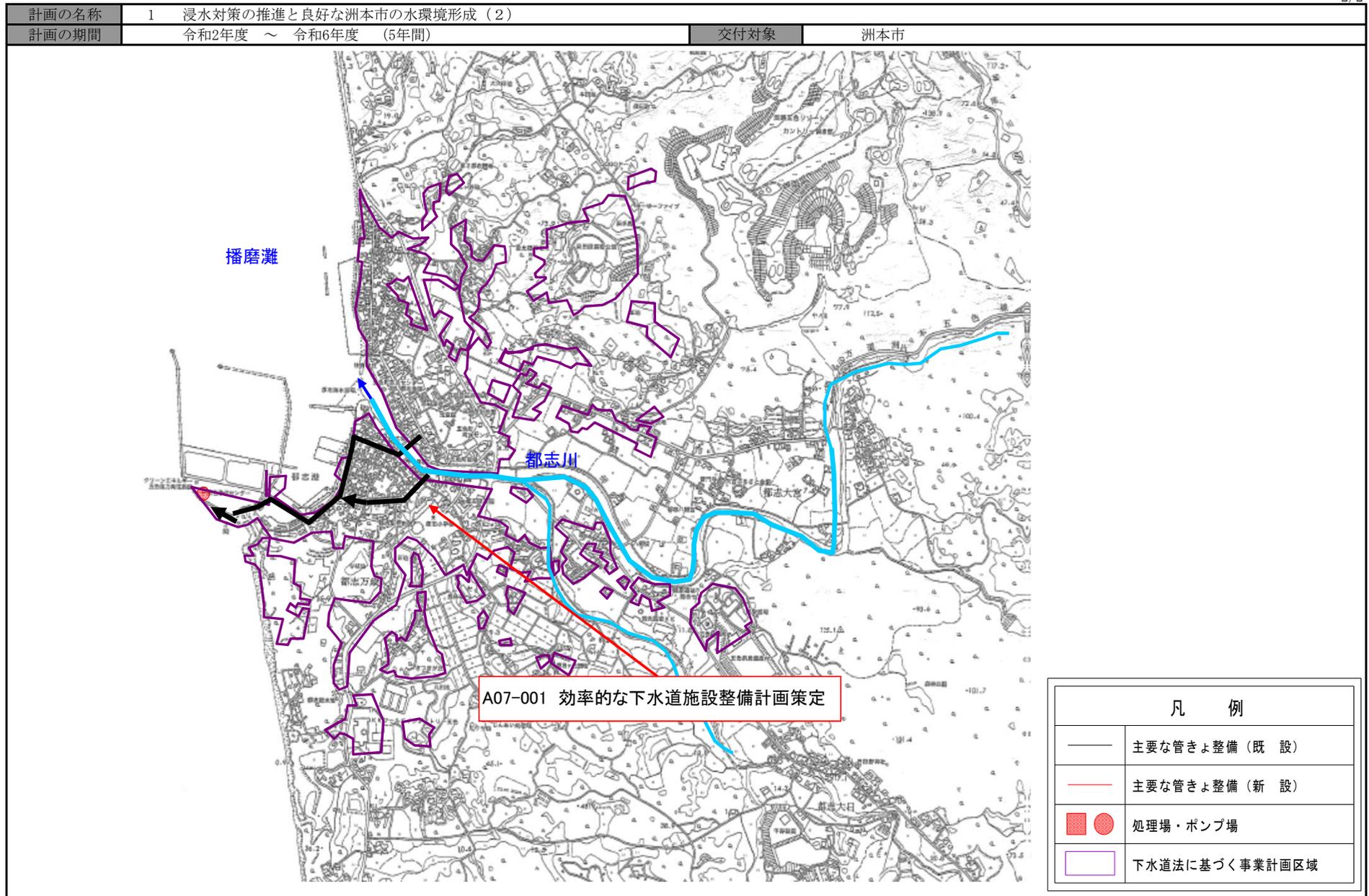
(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 浸水対策の推進と良好な洲本市の水環境形成 (2)	交付対象	洲本市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		



凡 例	
	主要な管きよ整備 (既 設)
	主要な管きよ整備 (新 設)
	処理場・ポンプ場
	下水道法に基づく事業計画区域

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 浸水対策の推進と良好な洲本市の水環境形成（２）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年11月22日

計画の名称	洲本市における防災・減災対策の推進(3)(防災・安全)(重点計画)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	洲本市												
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,230	A	1,200	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.43	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	下水道による都市浸水対策の達成率を56%(R2)から70%(R6)に増加させる。 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水達成率(%) = (概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(764ha))	56%	63%	70%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	ポンプ場	新設	第4・5排水区(ポンプ場)	ポンプ場Q=2.6m ³ /s Q=0.3m ³ /s 管渠L=100m A=30ha	洲本市						300	-	
	A07-002	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(雨水)	新設	第16・17排水区(雨水路整備工事)	800*900~1800*1800 L=300m A=20ha	洲本市							300	-
	A07-003	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(雨水)	新設	第3排水区(雨水路整備工事)	2300*1200~2400*1800 L=160m A=30ha	洲本市							100	-
	A07-004	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	ポンプ場	改築	洲浜ポンプ場耐震化対策実施	雨水ポンプ場 Q=17.6m ³ /s	洲本市							20	-
	A07-005	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(雨水)	新設	第6排水区(雨水路整備工事)	1500*1000~1900*1900 L=150m A=20ha	洲本市							80	-
	A07-006	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	下水道施設浸水対策:処理場耐水化対策	洲本環境センター耐水化対策 五色浄化センター耐水化対策	洲本市							100	未策定

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	ポンプ場	改築	下水道施設浸水対策：雨水ポンプ場耐水化対策	洲浜P場耐水化対策 物部P場耐水化対策 中島P場耐水化対策 都志万歳P場耐水化対策 都志住吉P場耐水化対策	洲本市						200		未策定	
	A07-008	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	洲本環境センター耐震化対策実施	水処理・汚泥脱水・管理棟	洲本市						30		-	
	A07-009	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	-	-	内水浸水リスクマネジメント推進事業	雨水管理総合計画策定 内水ハザードマップ作成 内水浸水想定区域図作成	洲本市						70		-	
												小計						1,200		
												合計						1,200		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	-	-	内水ハザードマップ作成 業務	内水ハザードマップ作成	洲本市						30		-
内水ハザードマップを作成、公表により周知し、基幹事業（A07-001,A07-002,A07-003,A07-005）の整備効果の促進を図る。																			
											小計						30		
											合計						30		

交付金の執行状況

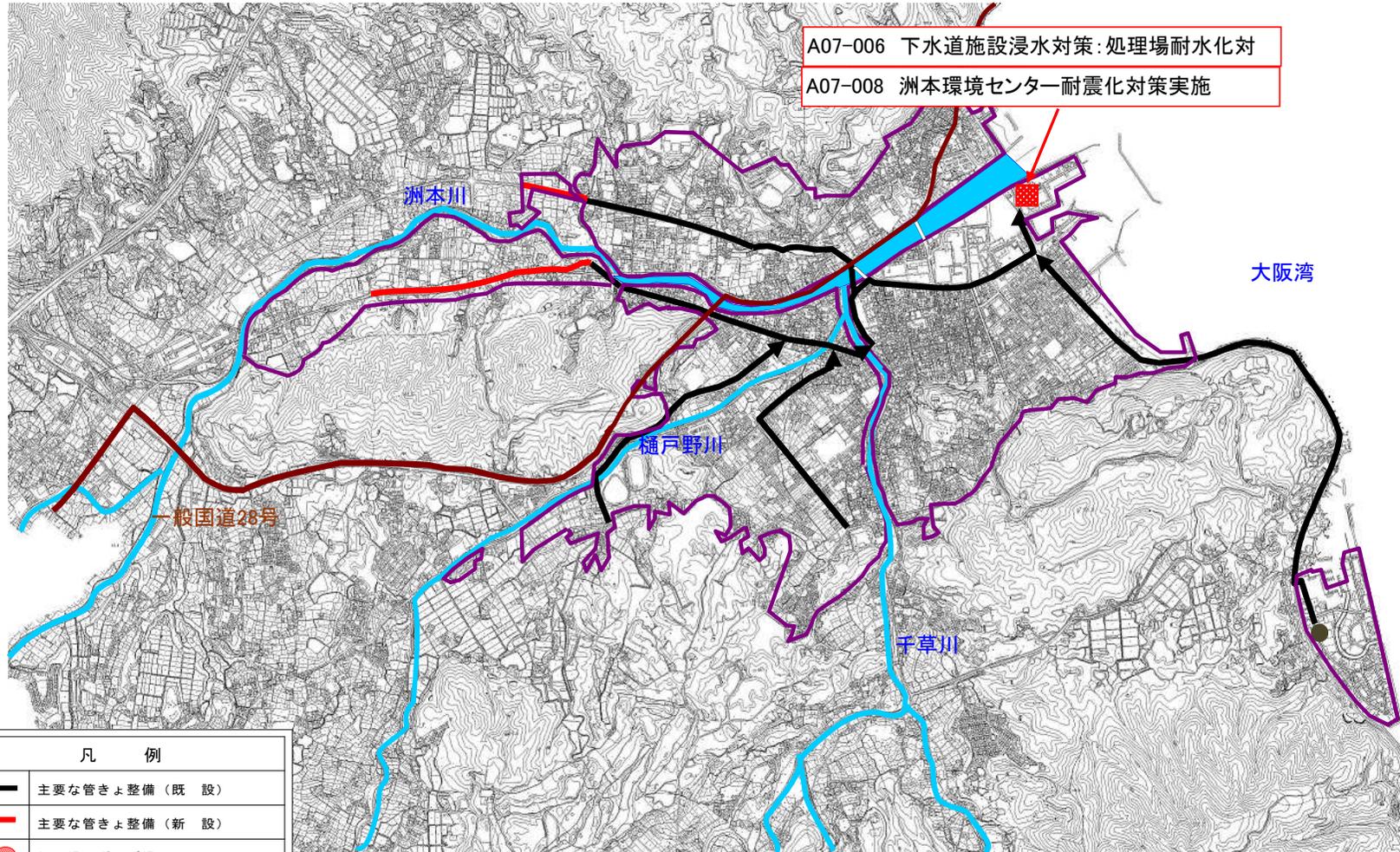
(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	99	10	19	72	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	99	10	19	72	
前年度からの繰越額 (d)	97	65	10	9	
支払済額 (e)	131	37	20	0	
翌年度繰越額 (f)	65	10	9	0	
うち未契約繰越額(g)	51	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	28	0	81	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	26.02	37.33	0	100	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地権者との調整がつかず、 予定していた工事を行うこ とが出来なかったため	地権者との調整がつかず、 予定していた工事を行うこ とが出来なかったため			

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

汚水

計画の名称	1 洲本市における防災・減災対策の推進 (3) (防災・安全) (重点計画)	交付対象	洲本市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		



A07-006 下水道施設浸水対策:処理場耐水化対
A07-008 洲本環境センター耐震化対策実施

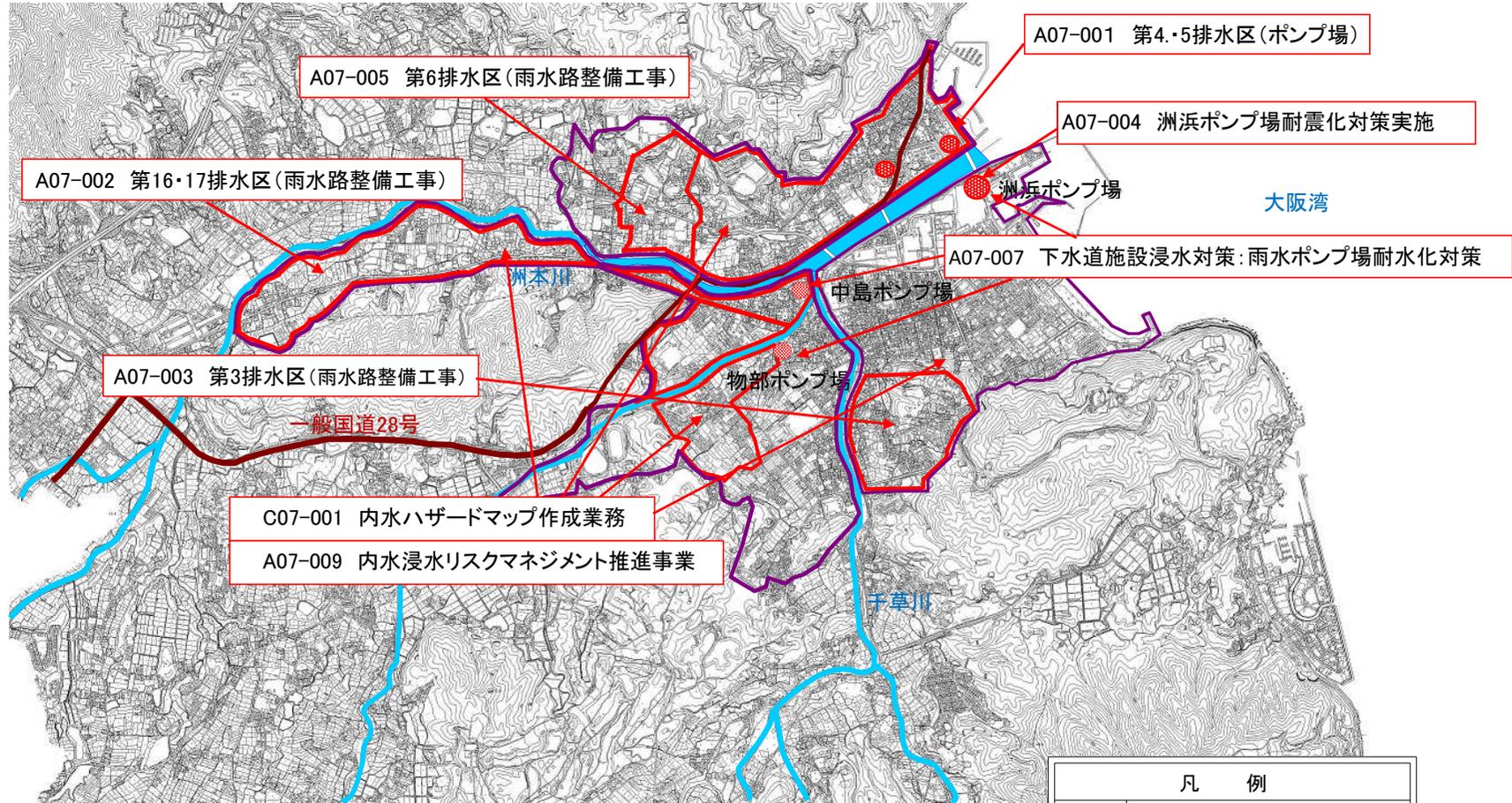
凡 例	
	主要な管きよ整備 (既 設)
	主要な管きよ整備 (新 設)
	処理場・ポンプ場
	下水道法に基づく事業計画区域

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

雨水

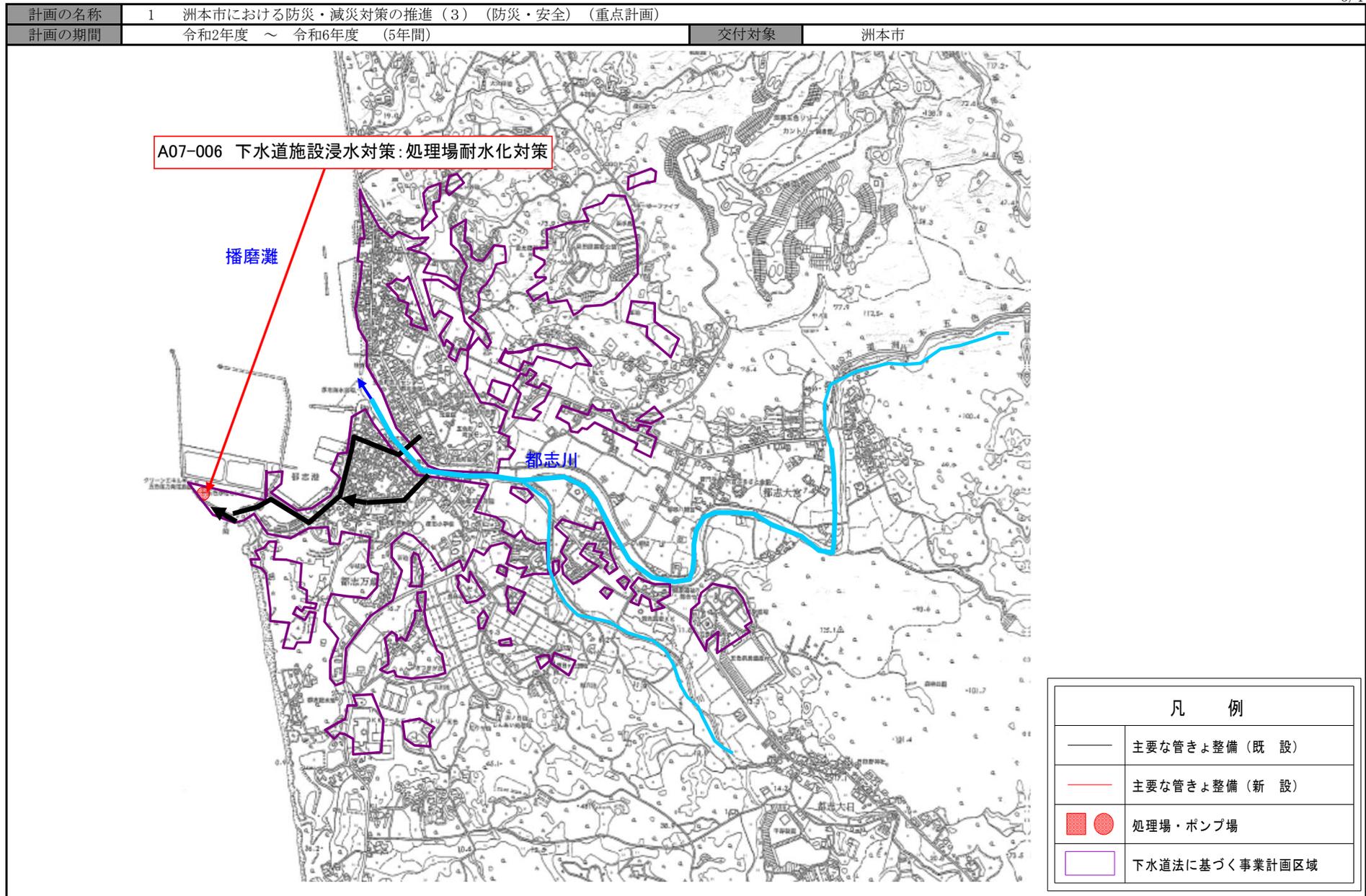
2/4

計画の名称	1 洲本市における防災・減災対策の推進(3) (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	洲本市



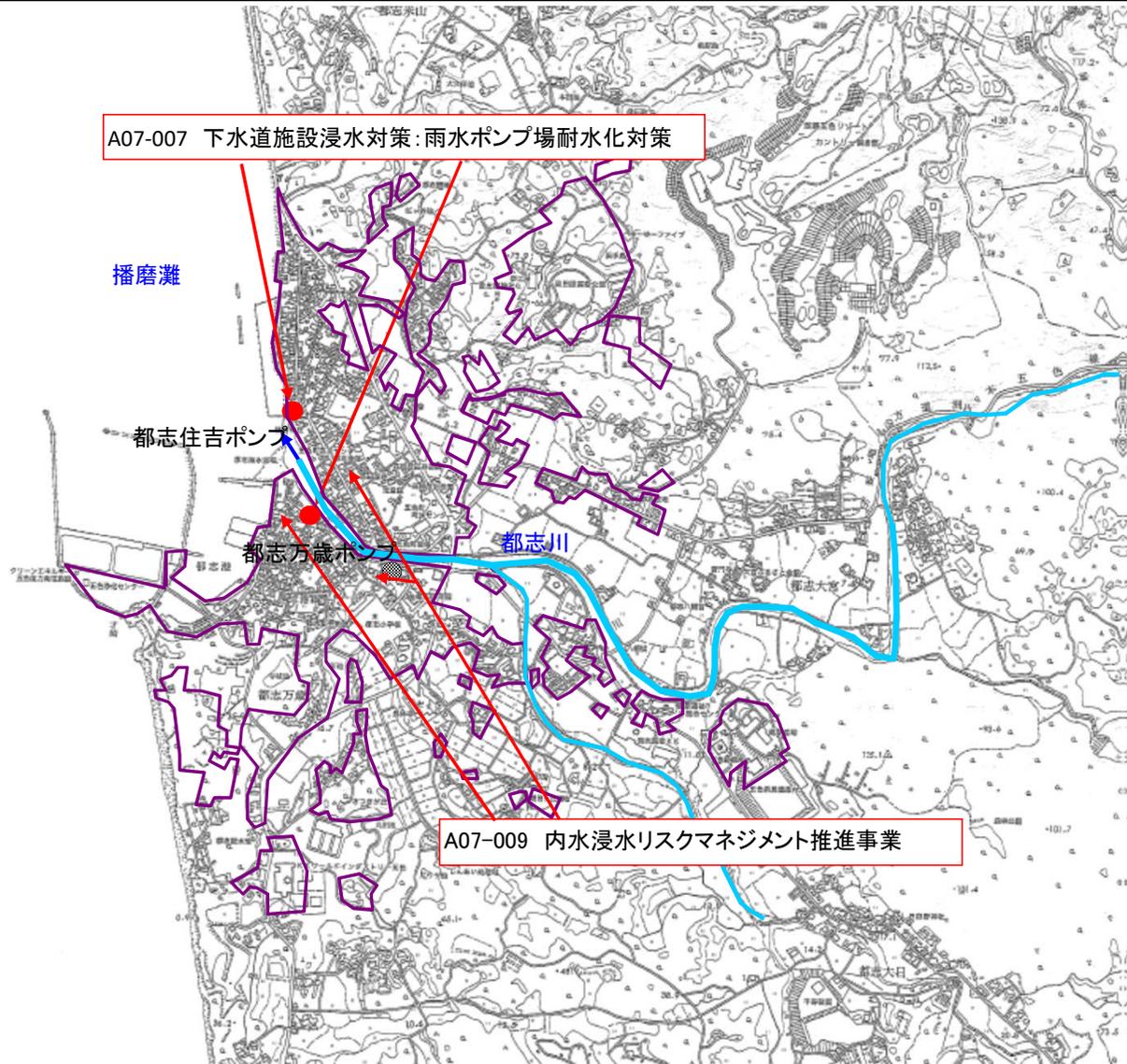
凡 例	
■ ●	処理場・ポンプ場
□	下水道法に基づく事業計画区域

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 洲本市における防災・減災対策の推進(3) (防災・安全) (重点計画)		交付対象	洲本市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)			



凡 例	
●	処理場・ポンプ場
□	下水道法に基づく事業計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 洲本市における防災・減災対策の推進（３）（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年11月22日

計画の名称	洲本市における防災・減災対策の推進（3）（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	洲本市											
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、水害に強い都市を作るとともに、循環型社会の形成を目指し良好な水環境の創造を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,460	A	1,460	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	ストックマネジメント計画を策定する。 ストックマネジメント計画の策定 ストックマネジメント計画を策定する	0件	1件	1件
2	洲本環境センターの長寿命化対策を実施する。 洲本環境センターの長寿命化対策の実施 洲本環境センターの長寿命化対策を実施する。	0件	1件	1件
3	洲本環境センターの耐震化対策を実施する。 洲本環境センターの耐震化対策の実施 洲本環境センターの耐震化対策を実施する。	0件	0件	1件
4	洲本環境センターの耐水化対策を実施する。 洲本環境センターの耐水化対策の実施 洲本環境センターの耐水化対策を実施する。	0件	0件	1件
5	洲浜ポンプ場の長寿命化対策を実施する。 洲浜ポンプ場の長寿命化対策の実施 洲浜ポンプ場の長寿命化対策を実施する。	0件	1件	1件
6	重要幹線（路線）の機能確保を実施する。 重要幹線（路線）の機能確保 重要幹線（路線）の機能確保を実施する。	0件	1件	1件

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	-	-	ストックマネジメント計画策定	1式	洲本市						90		策定済
	A07-002	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	洲本環境センター長寿命化対策実施	汚泥脱水処理設備工事 他	洲本市						90		策定済
	A07-003	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	ストックマネジメント更新工事 洲本環境センター長寿命化対策実施	汚泥脱水処理設備工事 他	洲本市						700		策定済
	A07-004	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	洲本環境センター耐震化対策実施	水処理・汚泥脱水・管理棟	洲本市						160		-
	A07-005	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	洲本環境センター耐水化工事対策	水処理・汚泥脱水・管理棟	洲本市						15		-
	A07-006	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	ポンプ場	改築	洲浜ポンプ場長寿命化対策実施	雨水ポンプ場 Q=17.6m3/s	洲本市						70		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント更新工事 洲浜ポンプ場長寿命化対策	雨水ポンプ場 Q=17.6m3/s	洲本市						250		策定済
	A07-008	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(雨水)	新設	雨水貯留施設設置助成事業	雨水タンク20戸 浄化槽改造10戸	洲本市						5		策定済
	A07-009	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	終末処理場	改築	五色浄化センター耐震化対策実施	水処理・汚泥処理・管理棟	洲本市						30		-
	A07-010	下水道	一般	洲本市	直接	洲本市	管渠(汚水)	新設	洲本処理区重要幹線(路線)機能確保(地震対策)	150~300 L=1000m	洲本市						50		-
											小計						1,460		
											合計						1,460		

交付金の執行状況

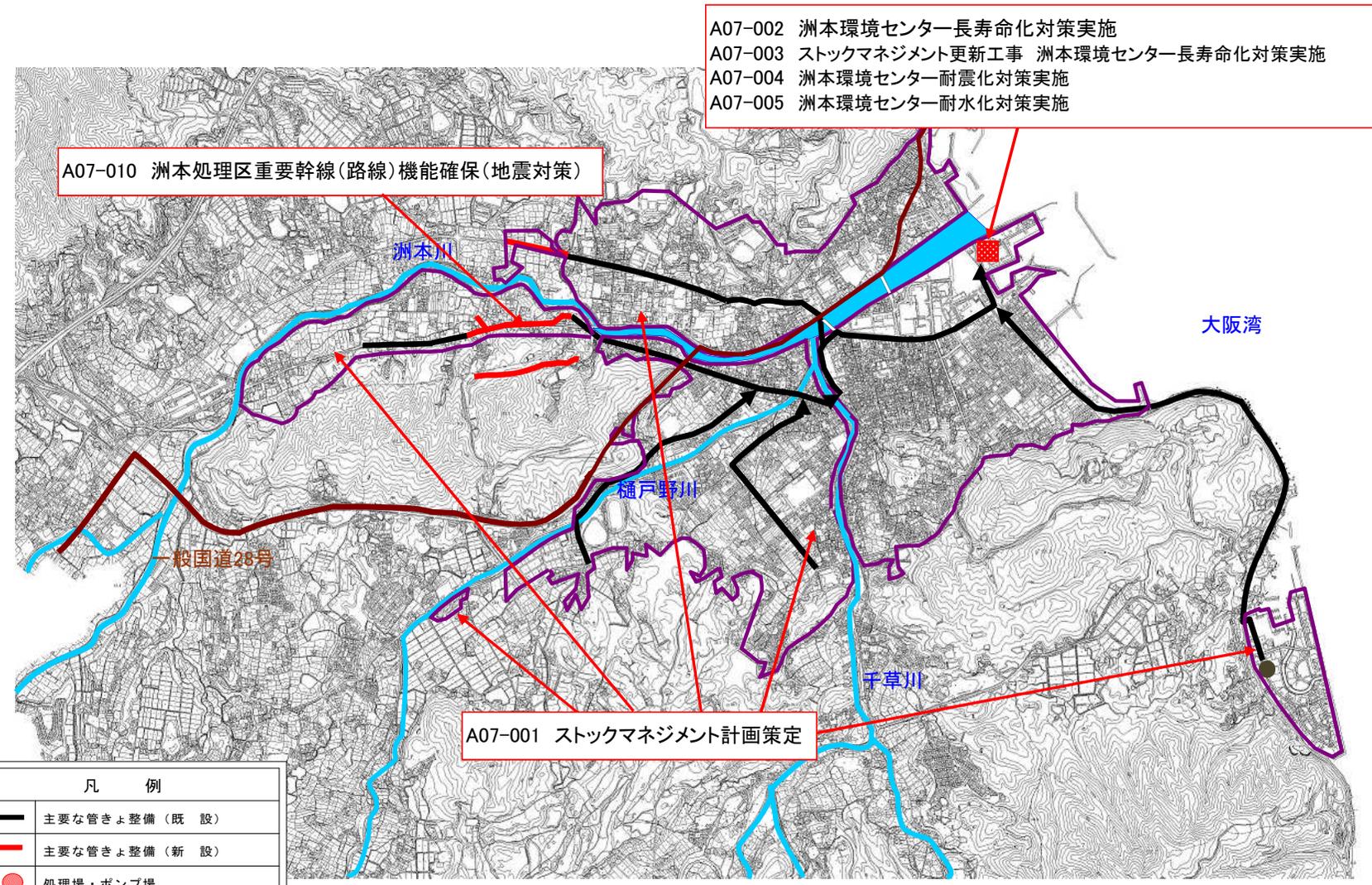
(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	140	189	97	155	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	140	189	97	155	
前年度からの繰越額 (d)	83	113	22	47	
支払済額 (e)	110	279	72	0	
翌年度繰越額 (f)	113	22	47	0	
うち未契約繰越額(g)	0	22	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	1	0	202	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	7.61	0	100	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

汚水

計画の名称	1 洲本市における防災・減災対策の推進(3) (防災・安全)	交付対象	洲本市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		



- A07-002 洲本環境センター長寿命化対策実施
- A07-003 ストックマネジメント更新工事 洲本環境センター長寿命化対策実施
- A07-004 洲本環境センター耐震化対策実施
- A07-005 洲本環境センター耐水化対策実施

A07-010 洲本処理区重要幹線(路線)機能確保(地震対策)

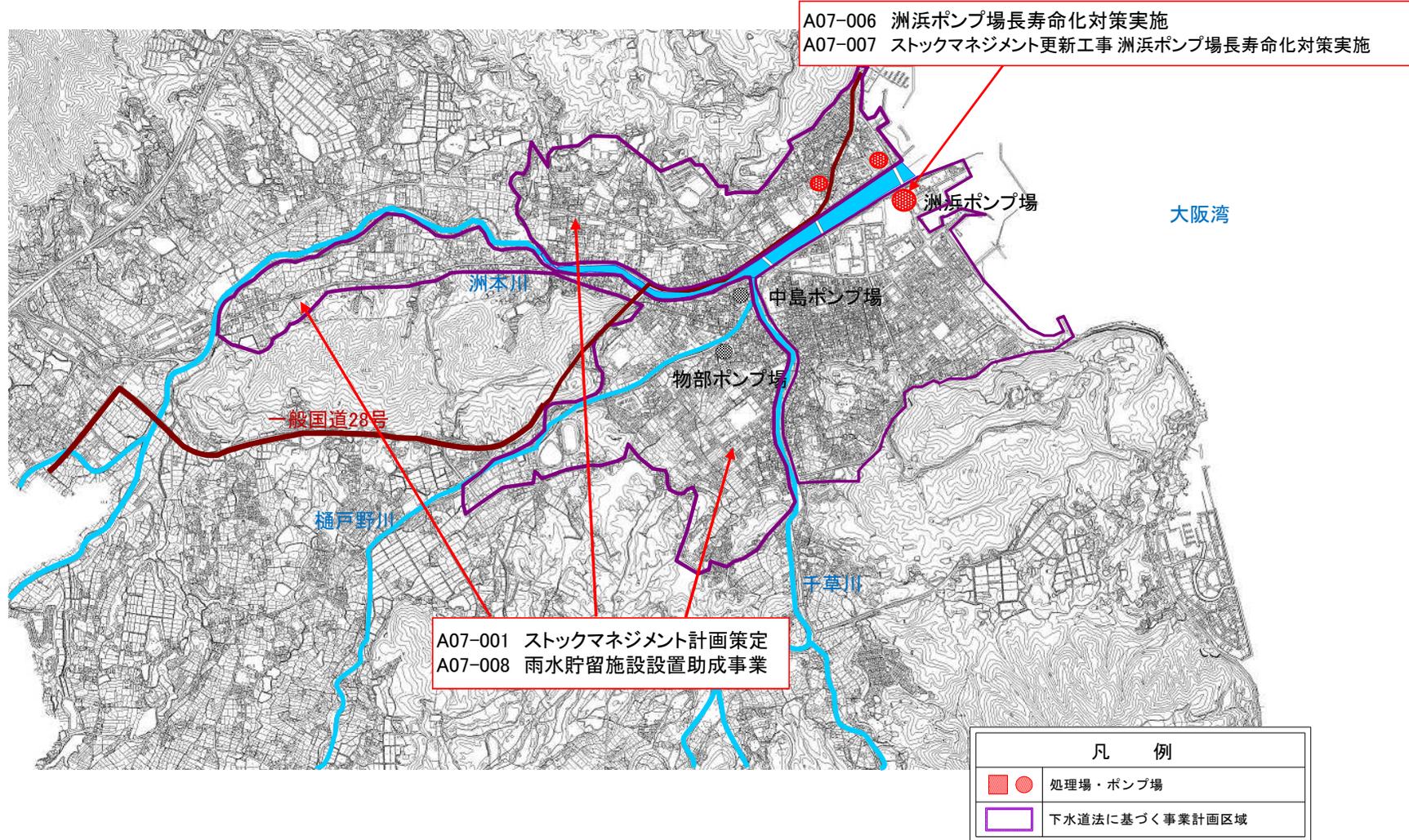
A07-001 ストックマネジメント計画策定

凡 例	
	主要な管きよ整備(既 設)
	主要な管きよ整備(新 設)
	処理場・ポンプ場
	下水道法に基づく事業計画区域

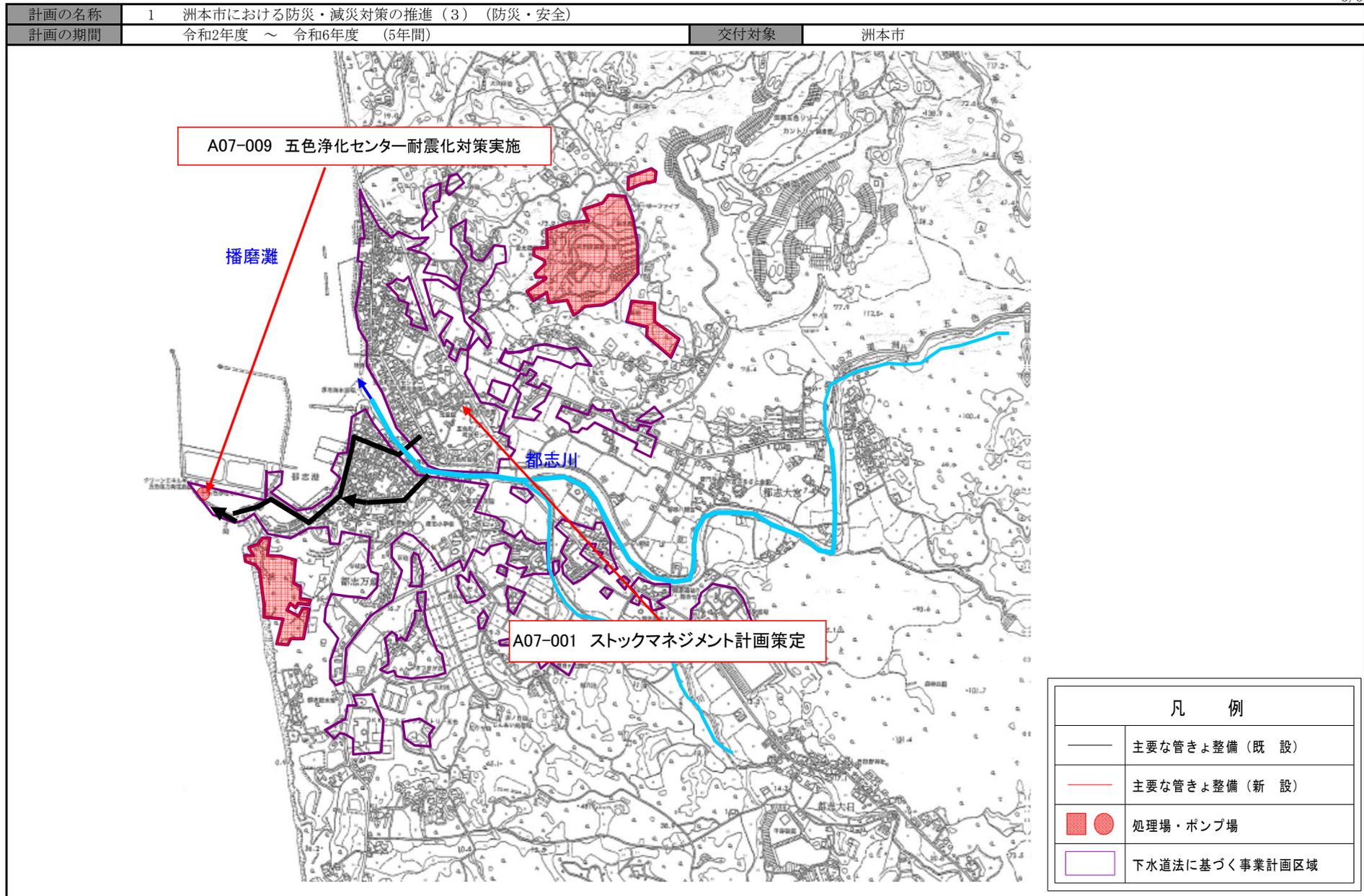
(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

雨水

計画の名称	1 洲本市における防災・減災対策の推進(3) (防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	洲本市



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 洲本市における防災・減災対策の推進（３）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○